

INFORMATION

1月9日(金)～1月10日(土)

A1 今年のフォーラム全体概要と見どころをお知らせいたします。テーマとしている「インクルーシブルな地域社会を願う私たちにとりまして、地域の方々と課題を共有し、どのように学びを共にしていくか。地域活動支援センターあかりで行っている「相談カフェ」の雰囲気でも和やかに2日間のフォーラムを予習しましょう！

B1 就労系サービスの見直し、支援員の業務負担の軽減のためのICTやAIの活用、高齢化、重度化が進む中でのグループホーム、医療的ケアの必要性、地域包括ケアシステムとの連携強化など、盛りだくさんの最新情報を伺い、次期報酬改定に備えよう！

B2 技術革新が止まらない現代において、私たちの生活は確かに豊かになりました。一方で、急速な変化に取り残され、新たにつくり出される社会的弱者と呼ばれる人達。特に知的に障がいのある人たちは、知ることも出来ず聞くことも出来ないまま「取り残される」観が否めません。格差社会や社会的分断が謳われる昨今、真にインクルーシブル(包括的)な社会を実現するために、本セッションではその鍵となる「合理的配慮」を切り口に深く議論をしていきます。

B3 社会的養護の下で暮らす子供たちの生活や権利は本当に保障されているのでしょうか。子供たちの声をどう受け止めるのか、理想と現実の間に横たわるギャップを直視し、子供たちが地域の中で自分らしく生きるための具体的支援のあり方を、先進的な実践報告をお聞きし多角的な議論を通じて学びたいと思います。

B4 入所施設だけに頼らない新しい支援体制の構築を地域に根差すためには何が必要なのか。安心と質の高い生活を保証する新しい福祉モデルとは。

1月11日(日)

C1 「パンジーメディア」は2024年(令和6年)に第26回糸賀一雄記念賞を受賞しました。障がい当事者が企画・出演・編集に関わるメディア活動を通じて、情報発信の新たな可能性を切り拓いています。本セッションでは、放送局の立ち上げ背景や運営の工夫、国内外への発信事例を紹介しながら、障がい者によるメディア表現がもたらす社会的インパクトについて考えます。共生社会の実現に向けた、地域発・当事者発信の力をぜひご体感ください。

C2 講演者は、厚生労働省在職時には、障害者雇用促進法改正にご尽力され、また障がい当事者の親として、行政・企業・家族・福祉関係者など多様な視点から障がい者雇用を見つめてこられた。障がい者が働きやすく、暮らしやすい組織や地域は、誰にとっても居心地の良い場所であり、法定雇用率のためだけの雇用ではないはず。企業は、週10時間雇用など多様な働き方で障がい者の可能性を受け入れ、家族は挑戦を信じ支え、福祉関係者は働く世界の広がりをサポートする。そんな『真の共生社会』の実現を考えたい。

C3 「第26回 糸賀一雄記念賞」を受賞なされた林 淑美さんと、『知的障害者施設潜入記』(光文社新書)を執筆なされた織田淳太郎さん。『知的障害者施設潜入記』の中には、創思苑への取材記録も書き綴られています。分科会として、ビックな対談です！



あいサポート

とっとりフォーラム26

開催期間 令和8年1月9日(金)～11日(日)

会場 米子コンベンションセンター
小ホール・国際会議室

「もう一步…」

2013年施行の「障がい者総合支援法」により、福祉サービスの総合的な支援を提供すると共に、「障害者差別解消法」における合理的な配慮が昨今では義務付けられるようになりました。合わせて、インクルーシブ理念を再度教育、福祉にと共生の裾野は益々広がりつつあります。各界で実践される皆様のお姿は世界に誇れるものだと思えます。「誰もが取り残されない」という人類共通の理念は、今なお起こる世界の分断、孤立、争いのうねりを変えるパワーがあると実感します。26回目を迎える今回は、戦後81年目のスタート地点として真の福祉、社会をめざす福祉最前線で闘志を燃やすヒーローたちをお招きし、参加される皆様にとって創造的福祉実践のヒントとなれば幸いです。

“お正月はとっとりで” 新年の一步に 心からお待ちしております。

小ホールエリア（参加無料）詳しくは別パンフをご覧ください

1月9日（金）		1月10日（土）	
国際会議室		小ホールホワイエ	小ホール
14:30～16:30 フォーラム前座（カフェトーク） 「福祉を愉しく」 地域活動支援センターあかり企画 ゲスト INFO A1 竹下 誓典（（社福）もみの木福祉会） 浦田 等流（NPO 法人あかり広場） コメンテーター 松本 夏実（鳥取県子ども家庭部参事監） 園本 真吾（鳥取短期大学教授）・・・調整中・・・ 進行 渡部 真哉（NPO 法人あかり広場） 参加費 500 円 会場でお支払いください		9:30～15:00 障がい者アート作品展示しています   13:00～14:00 アートやろうぜ！ いっぱ にほ さんぽ アートや創作の活動を取り入れたいけれど何からはじめればいいのか？ という疑問や、実践の中でのアイデアなどを持ち寄り、現場レベルで繋がり語り合います。   休憩スペース ホワイエに休憩スペースがございます。こちらで飲食や映画もご覧いただけます。 	10:00～ バリアフリー映画上映会！ 『大空へはばたこう』（105分） 14:30～ バリアフリー映画上映会！ 『ぼくが生きる、ふたつの世界』（105分）

1月10日（土）	
国際会議室	
8:45～	受 付
9:20～9:45	【ご挨拶・講演】 「もう一歩」～共生のまち・米子をめざして～ 伊木 隆司（米子市長）
9:45～10:45	【行政説明】～次期報酬改定に向けた議論をリアルで聞こう～ INFO B1 ゲスト 大竹 雄二（厚生労働省社会・援護局・障害保健福祉部・障害福祉課長）
10:45～10:55	休 憩
10:55～12:15	「合理的配慮の実践」 ～社会的格差をなくす取り組み～ INFO B2 ゲスト 羽山 慎亮（（一社）スローコミュニケーション副理事長） 織田 淳太郎（ノンフィクション作家） 梶野 友樹（厚生労働省政策統括官（総合政策担当）付参事官・元鳥取県障がい福祉課長）
12:15～13:15	昼休憩
13:15～14:00	「インクルーシブワールド」～国家間の共存と共栄、そして共生～ ゲスト 赤沢 亮正（衆議院議員・経済産業大臣） 廣江 研（（社福）こうほうえん会長）
14:00～14:10	休 憩

14:10～15:50	「子どもを守る・地域で衛る・社会が護る」 INFO B3 ゲスト 藤井 康弘（全国家庭養護推進ネットワーク代表理事・元厚生労働省障害保健福祉部長） 大谷 志帆（児童家庭支援センター米子みそのセンター長） 又村 あおい（全国手をつなぐ育成会常務理事） 辺見 聡（厚生労働省政策統括官・前厚生労働省障害保健福祉部長） 進行 廣江 仁（（社福）養和会理事長）
15:50～16:00	休 憩
16:00～17:40	『隔離』ではなく『共生』 ～本当に入所施設は減らせるのか～ INFO B4 ゲスト 伊原 和人（厚生労働省事務次官） 田中 正博（独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園理事長） 曾根 直樹（日本社会事業大学社会事業研究所客員教授） 進行&コメンテーター 又村 あおい（全国手をつなぐ育成会常務理事）
18:00～20:00	レストラン『ル・ポルト』 交流会 みんなで愉しく語り合おう！ 事前申し込み ￥6,600

1月11日（日）	
国際会議室	第 5 会議室
9:20～12:00 9:20～10:20 『東大阪発！世界に発信する「障害者放送局」の可能性』 INFO C1 ゲスト 林 淑美（（社福）創思苑理事長） 小林 道幸（映画監督） 進行 中野 淳太郎（復興庁・厚生労働班参事官補佐/前鳥取県障がい福祉課長）	9:20～11:00 9:20～10:00 （分科会3） シンポジウム てんかんと QOL ～社会参加を進めたい～ この講座のみの参加者は無料です ゲスト 足羽 泉枝（日本てんかん協会鳥取県支部代表） 渡邊 加寿恵（日本てんかん協会鳥取県支部） 進行
10:20～10:30 休 憩	渡部 恵子（NPO 法人あかり広場） まとめ
国際会議室	第 6 会議室
10:30～12:00 （分科会1） INFO C2 講演 一共生社会の実現に向けてー ～行政・家族の立場から「はたらく」を考える～ ゲスト 小野寺 徳子（元厚生労働省障害者雇用対策課長/元福岡労働局長）	10:30～12:00 （分科会2） INFO C3 シンポジウム 共生社会とは言うけれど・・・ 「地域社会は私たちを受け入れてくれている？」～地域生活への飽くなき取り組み～ ゲスト 林 淑美（（社福）創思苑理事長） 織田 淳太郎（ノンフィクション作家） 進行 浦田 等流（NPO 法人あかり広場）
12:00～12:40	「戦後 80 年、日本が問われるもの」 石破 茂（前内閣総理大臣）

[後援]鳥取県・鳥取労働局・米子市・境港市・鳥取市・倉吉市・鳥取県町村会・鳥取県教育委員会・米子市教育委員会・鳥取県社会福祉協議会・鳥取県共同募金会・鳥取県手をつなぐ育成会・鳥取県知的障害者福祉協会・米子商工会議所・とっとりコンベンションビューロー・日本てんかん協会鳥取県支部
NHK鳥取放送局・B S S山陰放送・日本海テレビ・TSK さんいん中央テレビ・中海テレビ放送・新日本海新聞社・山陰中央新報社・朝日新聞鳥取総局・毎日新聞鳥取支局・読売新聞鳥取支局（順不同・敬称略）